

SMDN X2ステータキット取扱説明書

商品番号 メーターフルセット：05-05-0813（キットにスーパーマルチDNメーターキット：05-05-0805を含む）
X2ステータキットのみ：00-05-0060

適応 ・XR50モーター AD14-1000001～
・XR100モーター HD13-1000001～

メーター本体の取扱説明書も
合わせてご覧下さい。

ご使用には別途当社製バッテリーキット09-00-0022が必要です。

① まえがき

この度は、TAKEGAWA 製品をお買い上げ頂き有難うございます。

ご使用に付きましては、下記内容をご理解の上ご使用下さいませお願い申し上げます。

取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

○取り付けの際には、工具等を準備し、取付け要領に従って十分注意して作業を行って下さい。尚、この取扱説明書は基本的な技能や知識を持った方を対象としております。取り付け等の経験の無い方、工具等の準備が不十分な方は、技術的信用のある専門店へご依頼されることをお勧め致します。

○本製品使用中に発生した事故、怪我、物品の破損等に関して如何なる場合においても当社は賠償の責任を一切負いかねます。

○この商品を取り付け使用し、当製品以外に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。

○他社製品との組合せは保証対象外になりますのでご遠慮願います。

○商品を加工等された場合は保証の対象にはなりません。

○性能、デザイン、価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。

○クレームについては、材料及び、加工に欠陥があると認められた商品に対してのみ、お買い上げ後3ヶ月以内を限度として修理又は交換させていただきますが、工賃その他費用は対象となりません。

○この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいませお願い致します。

注意 この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害が想定される内容を示しています。

- 作業を行う際は、必ず冷間時（エンジンやマフラーが冷えている時）に行ってください。（火傷の原因となります。）
- 作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。（部品破損・ケガの原因となります。）
- 製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。（ケガの原因となります。）

警告 この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- 技術、知識のない方は、作業を行わないで下さい。（技術、知識不足等による作業ミスで、部品破損により、事故につながる恐れがあります。）
- 作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。（作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。）
- 点検、整備を行った際、損傷部品が見つかった場合、その部品を再使用せず損傷部品の交換を行ってください。（そのまま使用すると、部品破損により、事故につながる恐れがあります。）
- エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行ってください。密閉したような場所では、エンジンを始動しないで下さい。（一酸化炭素中毒になる恐れがあります。）
- 走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みの有無を確認し、緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。（部品の脱落等で、事故につながる恐れがあります。）
- 走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。（事故につながる恐れがあります。）
- 点検や整備を行う際は、当取扱説明書やサービスマニュアル等に記載されている、要領、手順に従ってください。（不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。）
- 指定した部品以外の部品使用は、一切行わないで下さい。（部品破損により事故につながる恐れがあります。）
- 気化したガソリンの滞留は危険性がある為、通気の良い場所で作業を行ってください。

② ご使用上の注意点

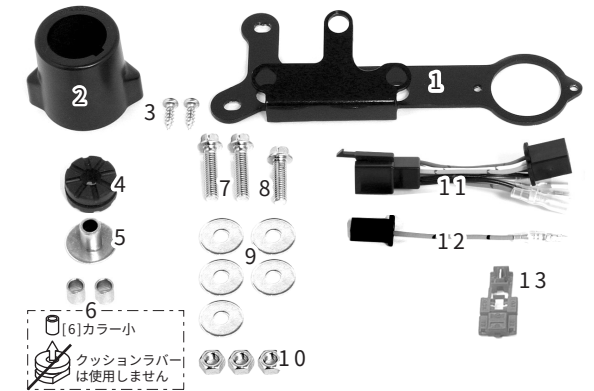
メーター本体取扱説明書でご確認下さい。

メーター本体取扱説明書 ② ご使用上の注意点

③ キット内容（X2ステー）

次ページに続く

X2ステータキット			リペアパーツ品番 00-05-0060	
番号	部品名	数量		
1	X2メーターステー	1		
2	コンビネーションスイッチカバー	1		
3	タッピングスクリュー	2		
4	クッションラバー（大）	1		
5	クッションカラー	1		
6	カラー（小）	2		
7	フランジボルト M6X25	2		
8	フランジボルト M6X20	1		
9	ブレンワッシャー M6用	5		
10	ナット M6	3		
11	メーターサブコードA	1		
12	メーターサブコードB	1		
13	エレクトロタップ	1		



スーパーマルチDNメーターキットから使用する部品（★）

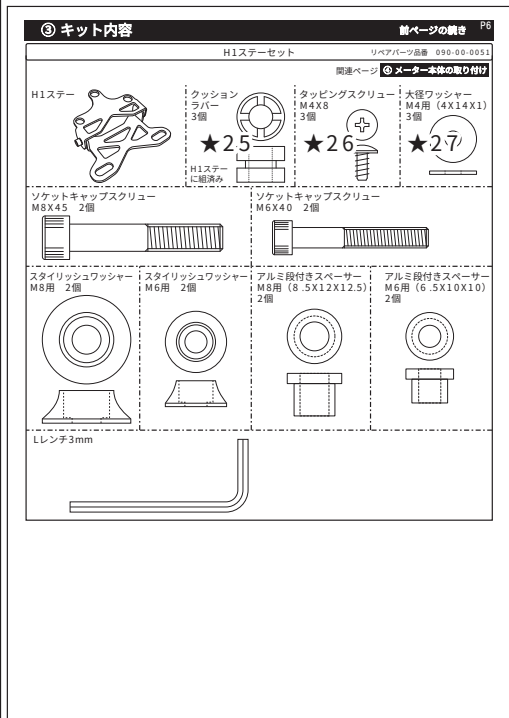
③ キット内容	次ページに続く P4	③ キット内容	前ページの続き 次ページに続く P5
メーター本体 約152mm 約40mm 約42mm 縮尺：約50% ※各部品のコード長は前後します。 厚みに突起部を抜く。 ・固定部 ・コネクタ部		六角穴付き止めネジ（イモネジ） M3X5 リペアパーツ品番 BW-00-0030（6個入り） 分岐接続用 サブハーネス Lレンチ1.5mm 関連ページ ③-6 温度センサー入力	
メイン配線 約300mm 関連ページ ③-15 温度センサー入力		JISケーブル式速度センサーセット リペアパーツ品番 05-06-0012 JISケーブル式速度センサー 約300mm 関連ページ ③-20 メーター本体の取り付け 関連ページ ③-7 温度センサー入力	
リペアパーツ品番 05-00-0049 メスギヤセット（φ3.5） 8セット オスギヤセット（φ3.5） 4セット 関連ページ ③-2~4 RPMコードA 2m（茶） 約2m 関連ページ ③-5 RPM値を入力		ソケットキャップスクリュー M4X1.6 2個 ★21 スプリングワッシャー M4用 2個 ★22 ナット M4 2個 ★23 速度センサースターフラットタイプ ★24 速度センサースター90度タイプ ★25 大径ワッシャー M6用（6X16X1.6） ★26	
リペアパーツ品番 05-00-0062 RPMコードB 550mm（茶） 約550mm 関連ページ ③-5 RPM値を入力 リペアパーツ品番 05-00-0063 熱収縮チューブφ12X50 関連ページ ③-5 RPM値を入力		リペアパーツ品番 05-00-0057（3個入り） スティック温度センサー 約90mm 関連ページ ③-6 温度センサー入力 リペアパーツ品番 05-04-0511 PT1/8温度センサー 約90mm 関連ページ ③-6 温度センサー入力 リペアパーツ品番 05-04-055 温度センサー連結コード900mm 約900mm 関連ページ ③-6 温度センサー入力 リペアパーツ品番 05-04-052 2個	

メーター本体取扱説明書の4ページ

メーター本体取扱説明書の5ページ

③ キット内容 (X2ステー)

前ページの続き



メーター本体取扱説明書の6ページ

④ メーター本体の取り付け (X2ステー)

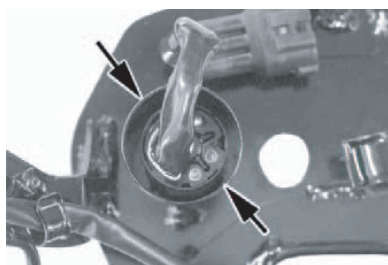
純正メーターの取り外し

- 水平で安全な場所で、メンテナンススタンド等を用いて車両を安定させます。
- フロントカウル両サイドのスクリーンを取り外し、ヘッドライトやホーンの配線カブラーを外し、フロントカウルを車両より取り外します。
- 純正スピードメーターの配線カブラーとスピードメーターケーブルを取り外し、スピードメーター本体を車両より取り外します。
- ニュートラルランプインジケータのレンズを、キズや破損に注意しながら、こじるようにして取り外します (右画像)。
- ニュートラルランプをラバーごとステー奥に押し込むようにして取り外し、配線カブラーを取り外します。
- メインスイッチの配線カブラーを取り外し、車両よりメインスイッチを取り外します。
写真の矢印部分に爪がありますので、細いマイナスドライバー等で押す等して、メインスイッチを取り外して下さい。
(簡単には外れない構造になっています。)
※写真は裏側から撮影した写真です。



メインキースイッチ
(正面から見て)

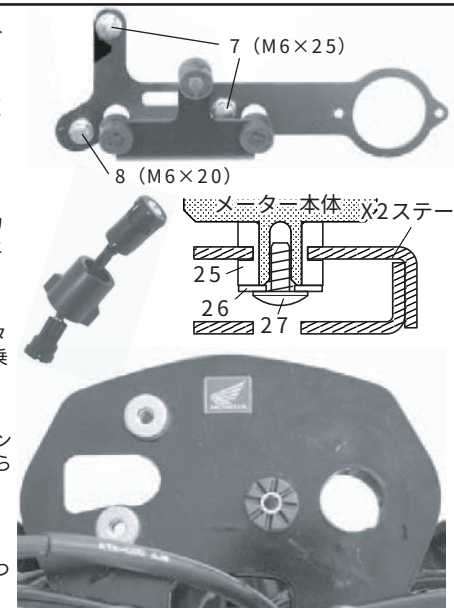
2ヶ所ツメがあります



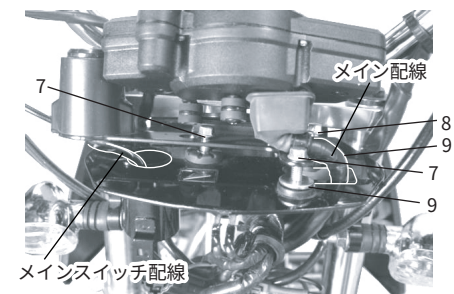
スーパーマルチDNメーターステーの取り付け

P2

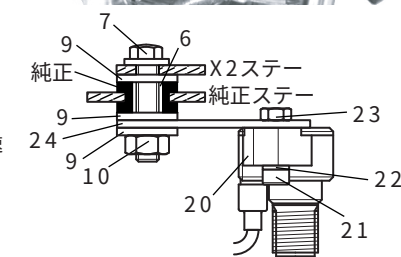
- H1ステーキットより[26]クッションラバー (小) 3個を取り外し、[1]X2ステーに付け替えます。
- [7]フランジボルトM6×25と[8]フランジボルトM6×20をステーに通しておきます。場所により長さが異なるので写真を参照して下さい。
- [2]コンビネーションスイッチカバーに、純正メインスイッチを通します
- [3]タッピングスクリー2本で[2]コンビネーションスイッチカバーを[1]X2ステーに固定します。この時、スイッチカバーの上下方向にご注意下さい。
- メーター背面に[15]メイン配線を接続します。
- [26]タッピングスクリーと[27]ワッシャM4用を使い、メーターを[1]X2ステーに固定します。この時[15]メイン配線を左 (乗車視線) に折り曲げて下さい。
- 純正ニュートラルランプインジケータの場所に、[4]クッションラバー (大) をはめ込み、[5]クッションカラーをステー裏側から差し込みます。
- 純正スピードメーターが固定されていたラバー2個それぞれに、[6]カラー (小) を差し込みます。
- [6]カラー (小) それぞれの上に[9]ブレンワッシャを1枚ずつ載せます。



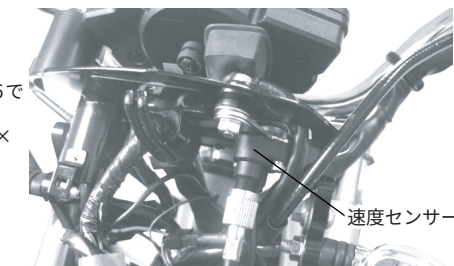
- 先程組立てたX2ステーを純正ステーに取り付けます。メインスイッチ配線を純正ステーの純正メインスイッチが取り付けられていた穴へ通し、メーターの[15]メイン配線は、純正スピードメーターのケーブルが通っていた穴へ通し、前項で載せた[9]ブレンワッシャが落ちない様に注意しながら、フランジボルト3本を通します。



- [21]ソケットキャップスクリューM4、[22]スプリングワッシャM4用、[23]ナットM4を使い、[24]速度センサーステーに[20]速度センサーを固定する。
- [9]ブレンワッシャM6用2枚で[24]速度センサーステーを挟み、[10]ナットM6でハンドルから遠い方 (写真参照) の[7]フランジボルト M6×25に速度センサーを共締めします (右図参照)。



- 純正ステー裏側から[9]ブレンワッシャM6用と[10]ナットM6で[8]フランジボルト M6×20を固定します。純正ニュートラルランプがあった位置の[7]フランジボルト M6×25にはワッシャを使わず[10]ナットM6で固定します。



次ページに続く

配線の接続作業を行って下さい。

関連ページ ⑤ 配線接続 (X2ステー)

○ヘッドライトカバーを元通り取り付けます。取り付けたメーターが、ヘッドライトカバーやステーと干渉しない事を確認します。干渉していると、エンジン振動によりタコメーターの表示が不正確になる等の原因になりますのでご注意ください。



⑤ 配線接続 (X2ステー)

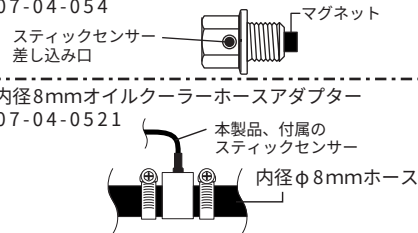
XR50/100モータード

ご使用には別途当社製バッテリーキット09-00-0022が必要です。
本製品はバッテリーのDC12V (直流) を電源とする事を基本にしていますが、メーター本体はAC12V (交流) でも駆動出来、メーター本体の電圧範囲もDC9~20V、AC9~25Vと広く耐久性の高い回路設計となっています。
車体側電源に不具合がある状態でもメーターが正常に駆動しますので、以下の症状が無いか確認して下さい。
●バッテリー電圧が作動電圧よりも低い時 (または配線ミスによりバッテリーの電力がメーターに伝わっていない時)
・キーONでメーターの電源が入りません (エンジン始動で電源が入る)。
・キーOFFで指針が上がったままメーターもOFFになる (指針を0点に戻す電源が無い為)。
・キーOFFで時計が止まります。
※メーターは距離計や各種設定を駆動中に保存する為、バッテリー電圧が無くてもこれらは正常に保存されます。
また、電源に大きな問題が無い限り記録が勝手に消える事はありません。

[17]スティック温度センサーのご使用には別売のアダプターが必要です。

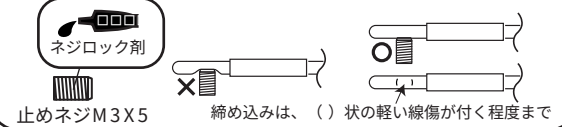
ドレンボルトアダプターA1: M12P1.5
07-04-054

内径8mmオイルクーラーホースアダプター
07-04-0521



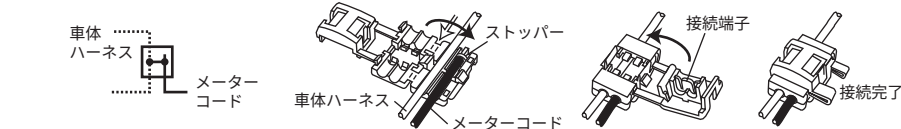
注意

止めネジの締めすぎでセンサー部が大きく変形すると、内部の電子部品が損傷してしまう可能性があります。
・脱落防止の為に止めネジにネジロック剤を少量付け、センサーに軽く線傷が付く程度で締め込みを止めて下さい。



エレクトロタップの使用法

次に接続端子がついている方を折り返してください。プライヤーなどで完全にロックするまでしっかりと押さえて下さい。



XR50/100モータード

★マークは接続箇所と色が異なりますので、ご注意ください。
ミニレギュレーターはバッテリーキット付近とメインスイッチ付近のどちらかに接続できます。
下記配線図はバッテリーキット付近に接続。
次項にメインスイッチ付近を記載。

